

平成 26 年度第 3 回函館市生活交通協議会会議録

開催日時	平成 26 年 10 月 14 日 (火) 10 時 00 分～11 時 00 分	
開催場所	企業局 4 階 大会議室	
議 題	(1) 函館市関係バス路線の再編について (2) その他	
出席者	協議会委員 木村委員, 奥平委員, 大橋委員, 森委員, 工藤(利)委員, 横田委員, 滝野澤委員, 武下委員, 佐々木(香)委員, 藤田(美)委員, 中山委員, 谷口委員, 山田委員, 近藤委員, 久保田委員, 鵜飼委員 (渡島総合振興局地域政策部地域政策課主査 北村氏 代理出席), 阿部委員 (函館開発建設部道路計画課道路調査官 笠松氏 代理出席), 今井委員 (函館建設管理部事業室道路課都市整備係長 金沢氏 代理出席), 宿村委員 (北海道警察函館方面函館西警察署交通課地域交通官 佐藤氏 代理出席) 杉本委員 (函館市土木部次長 田畑氏 代理出席), (計 20 名) ワーキンググループ委員 寺田委員, 石村委員, 手塚委員 (計 3 名) 随行者 函館バス(株) 内沢営業部次長, 金岩管理課長 (計 2 名) 報道関係 函館新聞社, 北海道新聞社 (計 2 社) 傍聴者 (計 1 名)	
欠席者	協議会委員 工藤(太)委員, 藤田(秀)委員 (計 2 名) ワーキンググループ委員 佐々木(崇)委員 (計 1 名)	
事務局の出席者の職氏名	企画部計画推進室長 企画部計画推進室政策推進課主査 企画部計画推進室政策推進課主事 企画部計画推進室政策推進課主事	湯浅 隆幸 長谷山 裕一 江良 規生 鶴喰 理沙

1 開 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主事】

2 議 題

(1) 函館市関係バス路線の再編について

【木村会長】

- ・ それでは、次第に基づき、会議を進めてまいりたい。
議題(1)、函館市関係バス路線の再編について、先に事務局から、本件を協議会の協議事項としている理由等について説明をいただき、その後、資料に基づき、函館バスから説明をお願いしたい。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：手塚課長】

- ・ 本協議会は、函館市内におけるバス生活路線の確保方策等について検討するために設置しているものであり、設置要綱第2条にも、協議事項として、「函館市内におけるバス生活路線の確保方策やサービスの充実に関すること」と記載されている。
- ・ 路線の見直しに関しては、事業者である函館バスが、毎年4月と11月に実施しており、中でも、市民生活への影響が大きいと考えられる路線の廃止や新設、半分以上の減便、経路の変更、運賃の見直しといった案件に関しては、本協議会で事前に協議を行うこととしている。
- ・ なお、本件以外の軽微な見直しに関しては、協議を要しないこととしているため、今回の案件には含まれていない。

【寺田委員】

(資料-1 「函館市関係バス路線の再編について」に基づき説明)

- ・ 1つの系統廃止と2つの系統の経路変更について協議したい。
- ニューバスパの廃止について
- ・ ニューバスパの前身であるバスパは、平成16年に市内の温泉施設へのアクセスを目的とし、企画路線として誕生した。しかし、利用者が伸びなかったため、平成18年に路線をコンパクト化し、増便を行い、温泉利用だけでなく、買い物や通院に便利なバス路線とし、利用促進を図った。
 - ・ 路線再編を行ったが、利用者は頭打ちで不採算は解消しなかった。バスが乗り入れている共愛会病院から協賛金を頂いているが、収支は悪化している状況である。
 - ・ 今後については、バスへ乗り込み、利用者に対しニューバスパ廃止後の対応系統や最寄バス停について説明し、周知を図っていく。
- 35系統の経路変更について
- ・ 学生の通学便として平日1便のみ運行している。
 - ・ 港町・七重浜方面へ新たに乗り入れることにより、さらなる通学生の利用

が見込めると考えている。

○3系統の経路変更について

- ・ 3系統については、臨空工業団地にある3つのバス停のうち、2つを廃止し、1つを移設することとしたい。
- ・ 3系統を利用して臨空工業団地内の企業へ通勤している利用者は、1日1人のみであり、今回の経路変更について個別に説明し、ご理解いただいている。

○その他

- ・ 以上の他にも多少の減便や時刻変更の見直しがあるが、前後便で対応できるため、利用者へ極端な不便をかけるものではないと考えている。

【木村会長】

- ・ ただいまの事務局および函館バスからの説明に対し、ご質問やご意見等はないか。

<質 疑>

【武下委員】

- ・ 協議会で検討している公共道路線再編については、今年度中に生活交通ネットワーク計画を成案化するよう進めているが、今回路線を再編する緊急性はあるのだろうか。公共道路線再編後、個別路線について検討した方がよいのでないか。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：長谷山主査】

- ・ 生活交通協議会については、函館市営バスと函館バスが一元化した、平成13年に設立した協議会である。バスが民営化されても、利便性を確保し、路線の新設や廃止について協議し、路線について考えていくことを目的としている。
- ・ 2年ほど前から、現状のままでは公共交通の維持が困難であることから、ダイヤ改正や路線の改善を行いながら、同時に公共交通に関する再編の計画策定も進めていくようにしている。

【寺田委員】

- ・ 函館バスでは市内の路線の収支状況について把握している。公共道路線再編が完了するまで現在の路線を維持できるのかどうか考えた際、今手を付けなければ他地域の路線廃止も検討しなくてはならない状況となってしまうため、極力ご迷惑をお掛けしない形で見直しができる路線を検討し、今回再編を実施したいと判断させていただいた。

【近藤委員】

- ・ ニューバスパについて、友人が東富岡郵便局前のバス停近くに住んでおり、とても便利だという声を聞いている。東富岡郵便局前のバス停の近くには他にどのようなバス停があるのか。また、私が利用した際は、利用者が多いように見えた。

【寺田委員】

- ・ 利用者の状況については調査を行っている。東富岡郵便局前バス停での利用者数は1日あたり1～2人である。代替バス停として昭和 high 台があり、東富岡郵便局バス停より500mほど離れているため、利用者には歩いていただくこととなり、ご不便をお掛けするが、ご理解いただきたい。
- ・ 周知については、ニューバスパに乗り込み、バスの廃止と代替バス停について利用者へ直接説明を行い、ご理解いただく予定である。

【近藤委員】

- ・ ニューバスパは運賃が210円均一で運行しているが、距離に応じて運賃を変える方法は検討しなかったのか。

【寺田委員】

- ・ 通常の運賃とする方法も検討したが、他の路線に振り替える方が様々な面で効率的であると判断したため、廃止という形にさせていただいた。

【木村会長】

- ・ 事務局から説明があったとおり、本協議会では、春と秋に路線の見直しについて議論を行ってきた。以前より路線の見直しが続いてきた中で、抜本的な見直しが必要であると意見があったため、総合的な公共交通に関する再編の計画を策定するよう取り組んできた。しかし、計画策定を待っては、不都合が大きくなってきている部分もあり、他の路線についても手を付ける状況が予想されることから、今回の見直しを提示していただいた状況である。
- ・ 路線を廃止した場合、必ず代替路線がある。今まで利便性を享受していた利用者にとってはご不便をお掛けするものであるが、ご理解いただけるようお願いしてきている。

【谷口副会長】

- ・ 公共交通に関する再編計画はバス一元化以降の大きな事業であり、ゾーンバスシステムを取り入れた、現在の運行システムを根本から変えるものである。大きな路線変更が伴うので、委員の皆様と協議してまいりたい。また、大きな計画のため、今年度中に計画を策定しても、一度に全地域で再編を行うことは難しい状況である。順次説明をし、ご理解をいただきながら行っていきたい。

- ・ 函館バスから説明があったとおり、利用状況の少ないところについては、利用者にもご理解いただいた上で、公共交通の再編前に最低限のところを変えていきたい。函館バスは、渡島檜山地域の路線バスを1社で運行しており、経営上やむを得ない状況の場合、地元の了解を得た上で、路線の見直しをある程度認めていかなくてはならないと感じる。

【木村会長】

- ・ ハイヤー・タクシーについても公共交通の一部であり、福祉制度で新たな運行サービスがあると伺っている。総合的な公共交通の見直しの中でさらに議論を深めていきたい。
- ・ 公共交通に関する再編の計画策定後、一気に全部切り替えるのは難しく、時間と丁寧さを伴いながら進めていくこととなるので、ご理解いただきたい。
- ・ 他に意見がなければ、承認行為に移りたい。本件について、色々と議論があったが、了承するということが良いか。

〈異議なし〉

【木村会長】

- ・ ありがとうございます。それでは、本件は了承する。

(2) その他

【木村会長】

- ・ 次に、議題(2)その他について、何かあるか。

【事務局：／函館市企画部計画推進室政策推進課：長谷山主査】

- ・ 前回の協議会で協議した内容の進捗状況について報告する。
- ・ 旧函館市地域の公共交通路線の再編については、前回の案をもとに、再編した各路線の運行本数を設定し、営業距離がどの程度となるのかシミュレーションしている。また、現在の総走行キロと再編時の営業キロ数の差を比較している。次回協議会で内容を示せると考えている。
- ・ 東部4地域の公共交通路線の再編については、前回の協議会の意見としてあがっていた、東部4支所で運営しているバスの路線バス化について、関係機関と協議し、検討していく。
- ・ 交通結節点整備については、警察、国道・道道管理者等の関係者と課題や問題点等について話し合った。対応方法についてレポートを作成している。これからも関係機関の皆様にはご協力をよろしくお願いしたい。
- ・ 次回の本協議会については、11月下旬頃の開催を予定している。ワーキンググループ会議については、本協議会の1週間から10日前での開催を予

定している。詳細が決まり次第，改めてご案内する。

【木村会長】

- ・ 他になければ，これで予定した議事をすべて終了したので，進行を事務局にお渡しする。

3 閉 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主事】